回覧

オモテ

令和8年度

南会津地方フードドライブ

家庭で余っている食品を寄付しませんか？



食品が届くまで　寄付 → 収集・仕分 → 社会福祉団体を通じて → 支援が必要な方へ

開催日時　令和8年11月18日(水)～11月20日(金)
9:00～17:00

受付場所
○南会津地方振興局　県民環境部　○下郷町役場
○檜枝岐村役場　○只見町社会福祉協議会
○南会津町役場(本庁及び各総合支所)

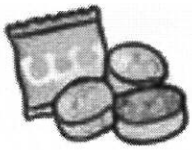
募集品目


①米


②保存食


③乾物


④飲料
(アルコール類を除く)


⑤菓子類


⑥調味料

×受付できないもの
○生鮮食品(鮮魚、野菜等)
○開封済みのもの
○賞味期限が記されていないもの(米、塩等を除く)
○保存期限が1ヶ月未満のもの
○冷凍食品
○アルコール類
(調理酒、みりん等を除く)

問合せ先　電話 0241－62－2061（南会津地方振興局 県民環境部）

ウラ

「食品ロス」について みんなで考えよう！

食品ロスとは？

食品ロスは、食べられるのに捨てられてしまうものです。

家庭で発生する例）　・手つかずの食品　・食べ残し　・過剰除去（皮の剥きすぎ等）

国民全員が毎日、おにぎり1個分の食品を捨て続けている



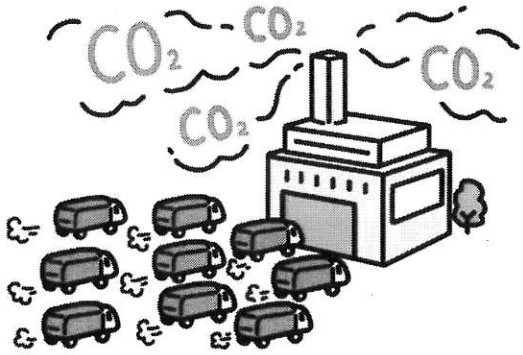
出典：農林水産省及び環境省推計（令和3年度）、総務省人口推計（2021年10月1日）

日本の食品ロス量である約523万トンを、国民一人当たりの食品ロス量として換算すると、毎日おにぎり1個分（約114グラム）の食品を捨てている計算になります。一方、日本の食料自給率は諸外国に比べて低く、輸入に頼る部分も多いのです。こうしたことを考えても、たくさんの食べ物を廃棄している現状を変えていく必要があります。

※農林水産省ＨＰより
（https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/2310/spe1_01.html）

食品ロスが与える影響とは？

ゴミ処理費用が増大、
CO2排出で環境にも影響



食べられるはずのものが捨てられるだけではなく、ゴミの焼却にともなう環境問題も深刻です。特に、水分を多く含む食品の焼却には多くのエネルギーが必要なうえ、処理費用も掛かります。また、焼却時には二酸化炭素（CO2）が排出され、焼却後の灰を埋め立てる土地の問題も発生します。もし、食品ロスを100トン削減できれば、46トンもの二酸化炭素を削減できます。

出典：「食品ロス削減ガイドブック」（消費者庁）

食品ロスを減らすには？

- ☑ 買いすぎない　⇒　必要な物を、必要な量だけ、必要な時に買いましょう。
- ☑ 食べきる　⇒　よく考えて調理、注文し、できるだけ食べきりましょう。
- ☑ 使い切る　⇒　食材は、工夫して調理・保存し、上手に使い切りましょう。

食べきれない、使い切れないときは「フードドライブ」を活用しましょう！

【PR】福島県環境アプリも活用しよう！

福島県環境アプリは、各市町村のごみ収集日を通知してくれる便利なアプリです。
日々のエコ活動（エコアクション）や連携店で獲得したポイントで、
県産品などの抽選に応募できます。投稿機能を使えばエコアクションの共有も可能！
この機会に福島県環境アプリで一緒にエコアクションしませんか。

問合せ先　福島県南会津地方振興局　県民環境部　電話 0241－62－2061